

報道関係者各位
プレスリリース



2015年10月01日
株式会社豆蔵ホールディングス

豆蔵が戦略提携企業 5 社と共同開発を進めてきた 効率的な ECU(Electronic Control Unit)※1 開発を実現する 車載 BSW(Basic Software)※2 製品が SCSK 株式会社より提供開始 ～ 独自開発のリアルタイム OS を搭載した国産 BSW を提供開始 ～

株式会社豆蔵ホールディングス(証券コード：3756、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：荻原 紀男)の事業会社である株式会社豆蔵(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：中原 徹也、以下 豆蔵)は、2014年11月に発表した戦略的提携 5 社との取り組みによる製品開発を進めてまいりましたが、AUTOSAR(オートザー)※3 準拠の車載 ベーシックソフトウェア製品「QINeS(R) BSW(クインズ ビーエスダブリュー)」※4 が、SCSK 株式会社(本社：東京都江東区、代表取締役社長：大澤 善雄、以下 SCSK)から2015年10月より提供開始されましたので、お知らせいたします。

<戦略提携企業 5 社>

- ・SCSK 株式会社 (本社：東京都江東区、代表取締役社長：大澤 善雄、以下 SCSK)
- ・イーソル株式会社 (本社：東京都中野区、代表取締役社長：長谷川 勝敏)
- ・ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社
(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：ファン・マヌエル・エステベス)
- ・キャッツ株式会社 (本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：渡辺 政彦)
- ・株式会社未来技術研究所 (本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：若杉 聡吾)

- ※1 ECU : Electronic Control Unit (自動車制御用コンピュータ)
- ※2 BSW : Basic Software (ECU の OS、ドライバ、ミドルウェアにあたる部分)
- ※3 AUTOSAR : 車載ソフトウェアの標準規格
- ※4 QINeS : SCSK では、車載新規事業を ECU ソフトウェアの高品質革新「High-Quality Innovation in the ECU-based Software」から文字を取り、QINeS(クインズ)と名付けています。
クオリティとソフトウェアをイノベーションでつなぎ、自動車産業を支えるという意味を込めています。



1. 背景と概要

自動車に搭載される機能は、環境と安全への対応で年々高度になり、それを実現するための車載システム(ECUソフトウェア)の開発規模は大幅に増大しています。加えて、機能安全やセキュリティに関わる新たな基準への対応が求められるなど、車載システムを安全かつ効率的に開発することは自動車完成車メーカーおよびサプライヤーにとって至
上命題となりつつあります。

このような状況に対して、2014年11月に豆蔵ほか車載IT企業5社は車載システム事業に対して戦略的な業務提携で合意しました。これにより、日本の自動車産業の発展に寄与すべく、それぞれの得意とする専門分野を持ち寄り、日本の自動車完成車メーカーおよびサプライヤーのECUソフトウェア開発を支援し、AUTOSAR関連事業を推進しています。このたび、業務提携の取り組み成果の一環として、AUTOSARに準拠した独自開発のリアルタイムOSを搭載した国産車載ベーシックソフトウェア「QINeS® BSW ver 1.0」および周辺サービスを提供開始します。

豆蔵は、情報化業務の最適化とソフトウェア開発スタイルの革新を推進するコンサルティングファームとして、先進の工学的手法の現場導入、製品開発における品質・生産性向上を支援してまいりました。

豆蔵ではこれまでのコンサルティング、教育サービスの実績を活かし、QINeS®製品をベースとしたECUソフトウェア開発を支援してまいります。

2. 製品の特長

本製品車載BSW「QINeS® BSW ver 1.0」および周辺サービスの主な特長は以下の3点です。

(1) コスト競争力強化への貢献

「QINeS® BSW」は、16bitマイコンと32bitマイコンの差分を吸収するソフトウェア構造を実現します。これにより、車種ごと、マイコンごとに行われているECU開発における、アプリケーション部分の開発量を抑え込むことが可能となります。具体的には、高級車向けには32bitマイコンを、新興国市場に向けた廉価版車種には16bitマイコンを選択し、共通機能のソフトウェアの二重開発を行うことなく、ECU開発原価の抑制に貢献します。

(2) 生産性・開発速度向上への貢献

「QINeS® BSW」は、車種ごとに行われているソフトウェアコードの実装量を削減します。16bit/32bitマイコンの二重開発を防ぐことに加えて、自動車の部品ごとに車載ソフトウェア領域のフレームワークとライブラリを提供し、構造化と共通化で実装量を削減することを実現します。

再利用性を高めることに加えて、ソフトウェアコード生成ツール、テストケース生成ツール、自動テストツールを連携させることで生産性・開発速度向上に貢献します。

(3) 品質向上への貢献

ソフトウェア再利用による品質向上に加えて、手順・ツールにより実現する標準プロセスを順次リリースする計画です。標準化・有限化により、定量的な可視化を実現し、要求・要件・実装コード・テスト結果に至るまで、ツールによるトレーサビリティ管理を実現することで品質向上に貢献します。

3. 「QINeS® BSW ver 1.0」および周辺サービスの内容

(1) 「QINeS® BSW ver 1.0」

- ・AUTOSAR4.0.3 対応 BSW、リアルタイム OS、ボディ系部品対応 Framework

(2) 開発ツール

- ・AUTOSAR4.0.3 対応 AUTOSAR Runtime Environment 自動生成ツール
- ・テストケース生成ツール、自動テストツール（開発中・順次提供予定）

(3) プロセス標準

- ・QINeS 適用プロセス構築支援コンサルティング
- ・QINeS 適用プロセステンプレート（開発中・順次提供予定）

(4) 教育・活用支援

- ・QINeS アーキテクチャー活用支援コンサルティング
- ・QINeS 開発ツール活用支援コンサルティング

(5) SI

- ・AUTOSAR 対応 ECU アプリケーション開発
- ・機能安全対応コンサルティング

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

S C S K 株式会社

車載システム事業本部

事業企画部 白木、小林

TEL : 052-209-7019

E-mail : qines-info@ml.scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

株式会社豆蔵ホールディングス

グループ経営企画本部

TEL : 03-5339-2100

※本リリースは、業務提携先各社より重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。